

令和4年度 府中市立旭小学校研究推進計画

1 研究主題について

府南学園教育目標 世界や地域や未来に目を向け、力強く挑戦し続ける府南っ子の育成
学校教育目標 かしこい子 やさしい子 つよい子 の育成
めざす子ども像 学ぶことを楽しみ一生懸命学ぶ子・礼儀正しいことば遣いができる子 目標に向かって根気強くやりぬく子
府南学園小中一貫教育研究主題 義務教育9年間を見通した資質・能力の育成 －併設型小・中学校の特色を生かしたカリキュラム開発－
研究主題 一人一人が運動の楽しさや喜びを味わい、進んで運動に親しむ児童の育成 ～器械運動系の授業づくりを足掛かりに～

2 研究主題・副主題設定の理由

本校では、昨年度から「一人一人が運動の楽しさや喜びを味わい、進んで運動に親しむ児童の育成」を研究主題として、児童の体力の向上や児童同士のより良い関わりを通じた不登校傾向児童の減少を目指し、体育科の授業改善及び遊びの充実を進めてきた。その結果、体育の授業に対する児童の肯定的な回答が増えただけでなく、児童の体力は向上し、不登校傾向児童も減少した。しかし、深い学びの実現に向けては、専門的な見識からの授業マネジメントや教師の具体的な「言葉がけ」の充実に課題が残った。

そこで、今年度は、これまで行ってきた自己の運動課題を見付け、解決に向かう学習の充実や運動が苦手な児童や運動に意欲的でない児童に対する手立ての具体化を基盤として、全学年の研究領域を「器械運動系」に絞り、より専門的な技能分析とともに9年間を見通した系統性のある指導計画の作成を目指したい。

また、本校で近年体育科の授業中で最も怪我が多かったのも器械運動であった。領域を絞って研究を進めていくことで、怪我の防止に繋がる専門的な指導の充実とともに運動の楽しさを追求し、児童一人一人の健康で豊かなスポーツライフを送るための素地を養いたい。

3 研究主題の本校での捉え

(1)「一人一人が」

運動に対して意欲的な児童はもちろん、運動の苦手な児童や運動に意欲的でない児童を置き去りにしないという決意。

(2)「運動の楽しさや喜びを味わう」

より具体的にすると、「運動の機能的特性に応じた楽しさや喜びを味わえるようにすること」である。

「機能的特性」…運動の欲求や必要を充足する特性。

(例) バスケットボールやサッカー等の機能的特性は、チーム対チームの競争欲求を満たしてくれること。

「楽しさ」……………今もっている力に合った運動をして感じられるもの。

練習やゲーム等の欲求充足の活動が展開し、感じられるもの。

「喜び」……………学習する中で高まった力をもとに、少し難しいことに挑戦しているときに感じられるもの。

高まった力にふさわしい工夫が加えられ、より高いレベルの学習に取り組んでいる時に感じられるもの。

(3)「進んで運動に親しむ児童」

○体育科の授業において、課題解決に向けて進んで運動しようとする児童。

○休み時間や家庭でも、友達や仲間とかかわり合いながら進んで運動しようという意欲をもっている児童。

4 体育科で育成する資質・能力の系統

	1・2年生	3・4年生	5・6年生
知識及び技能	運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けている。	運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けている。	運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。
思考力、表現力、判断力等	運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えている。	自己の運動の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えている。	自己やグループの運動の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
学習に向かう力、人間性等	運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をしようとしている。	運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をしようとしている。	運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をしようとしている。

5 研究仮説

児童が課題解決的な学習を行えるよう、教員が技能の分析をした上で、学習過程や発問・言葉がけを工夫するとともに、運動の苦手な児童への手立てを充実させれば、一人一人に運動の楽しさや喜びを味わわせ、主体的に運動に親しむ児童を育成することができるであろう。

※ここで言う「課題」とは、児童が自ら発見したもの、もしくは、児童が追求したい・解決したいと思えるものを指す。

6 研究の視点

- ① 問い・学習過程の工夫
- ② 運動の苦手な児童への配慮（場・学習ツール・言葉がけの工夫）
- ③ ウォーミングアップの開発（ストレッチと感覚づくり）

7 研究内容

①問い・学習過程の工夫

問いとは、児童が主体的に運動するために、疑問をもったり意欲を高めたりできるような発問である。そのために次の3つの問いに留意したい。

1 本質的な問い

生涯にわたる健康の保持増進や豊かなスポーツライフ、スポーツ・運動との多様な関わりを実現することが目標で、何度も問い直され、答えが更新され続ける問い。

2 単元を貫く問い

単元を通して考えを深めていく問い。

3 個別の問い

単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能の向上につながる問い。

また、指導者は運動の技能分析や理論の習得、そして、指導しようとする運動の特性を確認する必要がある。

- 機能的特性…運動を行う者の欲求や必要を充足する機能に着目した特性
（その運動をして、どのような時に楽しさや喜びを感じられるか）
- 構造的特性…運動の技術的構造に着目した特性
（その運動の技術的しくみや構造がどのようなになっているか）
- 効果的特性…運動の身体的効果に着目した特性
（身体にどのような効果を与えるか）

運動や健康についての興味や関心を高め、運動や健康等に関する課題を見付け、粘り強く意欲的に課題の解決に取り組むとともに、自らの学習活動を振り返りつつ、課題を修正したり、新たに設定したりして、仲間と共に思考を深め、よりよく課題を解決し、次の学びにつなげることができるようにする（学習指導要領解説体育編）ために単元の計画、1単位時間の流れを工夫する。

児童の興味や関心、思考に寄り添いながら連続性のある展開を意識し、課題解決的な学習の過程に即して構成する。

②運動の苦手な児童への手立て（場・学習ツール・言葉がけの工夫）

運動が苦手な児童や運動に意欲的でない児童のつまづきを理論だけでなく、実技面においても、教師自身が実技研修を通して体験的に理解し整理することで、支援例を明らかにする。

場の工夫…使用する用具の種類や大きさ、配置などに明確な意図をもった場づくりを行う。

学習ツールの工夫…児童の興味・関心を高める、課題を発見させる、学び合いを生む、学びを振り返る、学びをつなぐ等、学びの質を高めるために各種の学習ツールを使用する。

言葉がけの工夫…「ナイス」や「いいね」などの声かけだけではなく、技能や意欲の向上を促すために、教師から児童への言葉がけを充実させる。教師の言葉がけを充実させることで児童同士の関わり合いの充実も目指す。

③ウォーミングアップの開発（ストレッチと感覚づくり）

児童の心拍数の上昇、心の開放、主運動に必要なとなる技能の習得を視点とし、単元を通して行うことのできる運動をパッケージ化する。

また、怪我を防ぐために効果的なストレッチや主運動につながる感覚づくりを、児童が楽しみながら取り組むことができるように工夫する。

【研究の土台】

○実技研修・理論研修の充実

○望ましい生活習慣の定着

- ・家庭での運動時間の向上
- ・アウトメディアの啓発
- ・生活リズム・食生活の改善 等

○運動・遊び用具の充実

- ・遊び環境の整備（PTA でタイヤの山修繕）

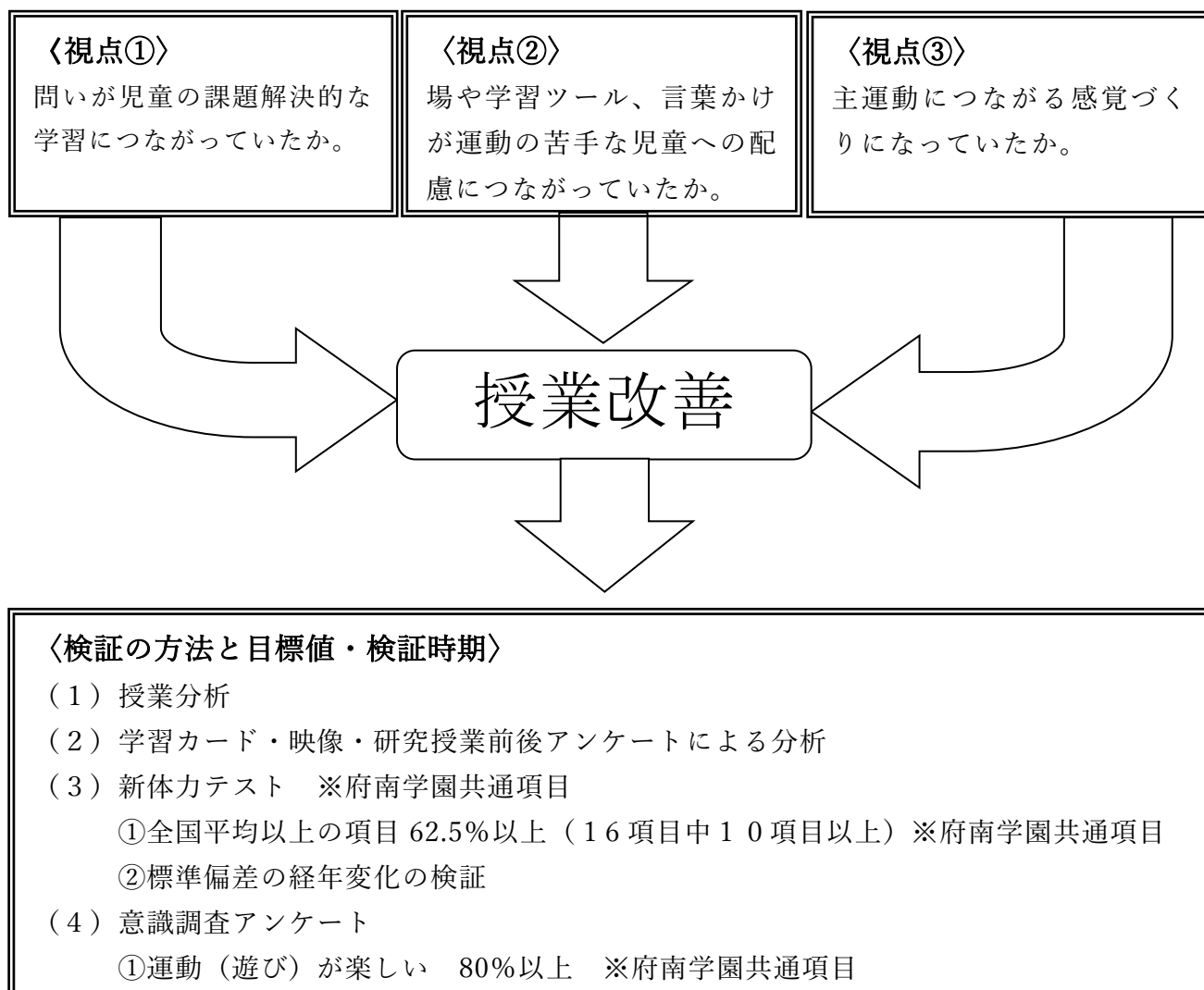
○外遊びの奨励

- ・元気タイム・ミニ元気タイム等

○体育的行事等の工夫

- ・運動会
- ・ロードレース大会
- ・長縄跳び集会

8 検証の視点



9 研究方法

- (1) 理論研修（研究主題の共通理解）
- (2) 実技研修・理論研修
- (3) 研究授業、講師招聘
研究授業を行い、研究テーマに沿った授業改善を行う。
オープン研究会
- (4) 検証方法の確立
- (5) 先進校研究会、体育指導者研修参加
- (6) 児童アンケートの実施（4月・10月比較検証）

10 研究の見通し（3年計画）

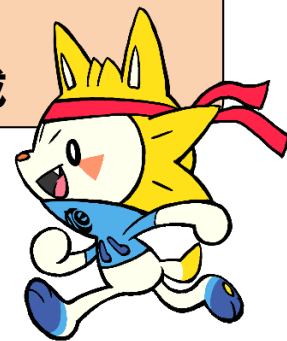
- 2年目…1年目＋さらに深い学びをめざす・旭小独自の年間指導計画の作成
- 3年目…旭小の体育を確立させる・1年目と2年目の内容を修正・充実
指導資料のまとめ

府南学園教育目標

世界や地域や未来に目を向け、力強く挑戦し続ける府南っ子の育成

学校教育目標

かしこい子 つよい子 やさしい子 の育成



めざす学校像

- 社会を生き抜く資質・能力を育む学校
- 素直な心と感謝の心を育む学校
- 来るのが楽しいと感じる学校

めざす児童像

- 学ぶことを楽しみ一生懸命学ぶ子
- 礼儀正しく正しいことば遣いができる子
- 目標に向かって根気強くやりぬく子

めざす教師像

- 一人一人の可能性とチャンスを広げる教師
- 協働して職務を遂行する教師
- 自信と誇りを持った信頼される教師

研究主題

一人一人が運動の楽しさや喜びを味わい、
進んで運動に親しむ児童の育成
～器械運動系の授業づくりを足掛かりに～

研究の視点

- ① 問い・学習過程の工夫
- ② 運動の苦手な児童への手立て（場・学習ツール・言葉かけの工夫）
- ③ ウォーミングアップの開発（ストレッチと感覚づくり）

運動・遊びを支える環境

元気タイム

体育的行事

運動・遊び用具

健康教育の充実

11 年間研修計画

実施日		事前研 プレ授業 指導案提出	研修内容	講師等
4	4 (月)		校内研修 1年間の研究について	研究主任
	22 (金)		校内授業研究① (体育5年 陸上)	
5	25 (水)	4/20 (水) 指導案検討・ 実技研修 5/9 (月) 指導案提出	公開校内授業研究② (体育科特支 体づくり)	広大 岩田昌太郎先生 富岡 宏健先生 (オンライン)
6	29 (水)	6/1 (水) 指導案検討・ 実技研修 6/20 (月) 指導案提出	授業研究③ (体育科6年 跳び箱)	広大 岩田昌太郎先生
7	21 (木) ～	7/22 (金) 実技研修 (高～中学年)	2学期 授業研究指導案検討 校内授業研究に向けて	岩田先生、富岡先生、阿部先生
	30 (金)	7/27 (火) 実技研修 (中～低学年)		
8	16 (火) ～		低・中・高 部会 授業研究指導案検討	
	22 (月) ～		指導案提出	
9	7 (水)	必要に応じて指導案再検討	授業研究④ (体育科5年 マット?)	府中市教育委員会主査
	28 (水)	必要に応じて指導案再検討	授業研究⑤ (体育科4年 跳び箱?)	広大 岩田昌太郎先生
11	9 (水)	必要に応じて指導案再検討	授業研究⑥ (体育科3年 ?)	府中市教育委員会主査
	30 (水)	必要に応じて指導案再検討	授業研究⑦ (体育科2年 跳び箱?)	広大 岩田昌太郎先生
1	25 (水)	必要に応じて指導案再検討	授業研究⑧ (体育科1年 ?)	府中市教育委員会主査
2	15 (水)		校内研修 1年間のまとめ 来年度の研究について	

指導案作成…体育科の指導案を初めて作成される先生もおられると思いますが、教材分析、技能分析を欠かさず行ってください。国語の教材研究と同じです。

指導案検討…全体で検討してほしい部分を明らかにしてから臨んでください。実技研修でもよい。

指導案提出…管理職の先生方への起案後、浄書が終わっていない日として設定しています。提出が遅れば講師の先生に失礼です。対外意識をもって計画的に進めてください。